

フラッシュに不正ブロックがあるC9105AXWアクセスポイントの修復

内容

[はじめに](#)

[バグ修正](#)

[Cisco Bug ID CSCwf50177 C9105AXW – 多数の不正ブロック](#)

[Cisco Bug ID CSCwf68131 C9105AXW不良ブロックの監視と修復](#)

[該当するユニット](#)

[修正済みソフトウェア](#)

[AireOS](#)

[Cisco IOS® XE](#)

[影響を受けやすいAPの過剰な不良ブロックのチェック](#)

[不正ブロックのチェック – 17.6以降](#)

[不正ブロックのチェック : 8.10および17.3](#)

[アップグレード手順](#)

[シングルコントローラ導入でのアップグレード – 新しいコントローライメージの完了](#)

[シングルコントローラ導入でのアップグレード – APSP](#)

[N+1導入でのアップグレード](#)

はじめに

多くのC9105AXWアクセスポイント (すべてのPID) は、時間の経過とともに誤ってブロックに不良マークを付ける可能性のあるNANDフラッシュサブシステムを使用して製造されました。94個のブロックが「bad」とマークされると、「flash bad blocks」テーブルはいっぱいになります。その結果、APでは次のようなさまざまな症状が発生する可能性があります。

- フラッシュファイルシステムが書き込みロック状態になり、APが設定変更のコミット、新しいログの書き込み、または新しいイメージのダウンロードを行えなくなる場合があります。次のようなエラーが表示される場合があります。

sync_log: /storage/syslogs/7 : 読み取り専用ファイルシステムを開くことができませんでした

- 次のようなUBIFSエラーを示すカーネルパニックにより、APがクラッシュする場合があります。

```
<3>[02/06/2023 05:06:06.0290] UBIFSエラー(ubi0:1 pid 5454): do_writepage: cannot write page 8 of inode 54848, error -30
```

- APがブートできない場合があります。コンソールログに次のようなエラーが表示されます。

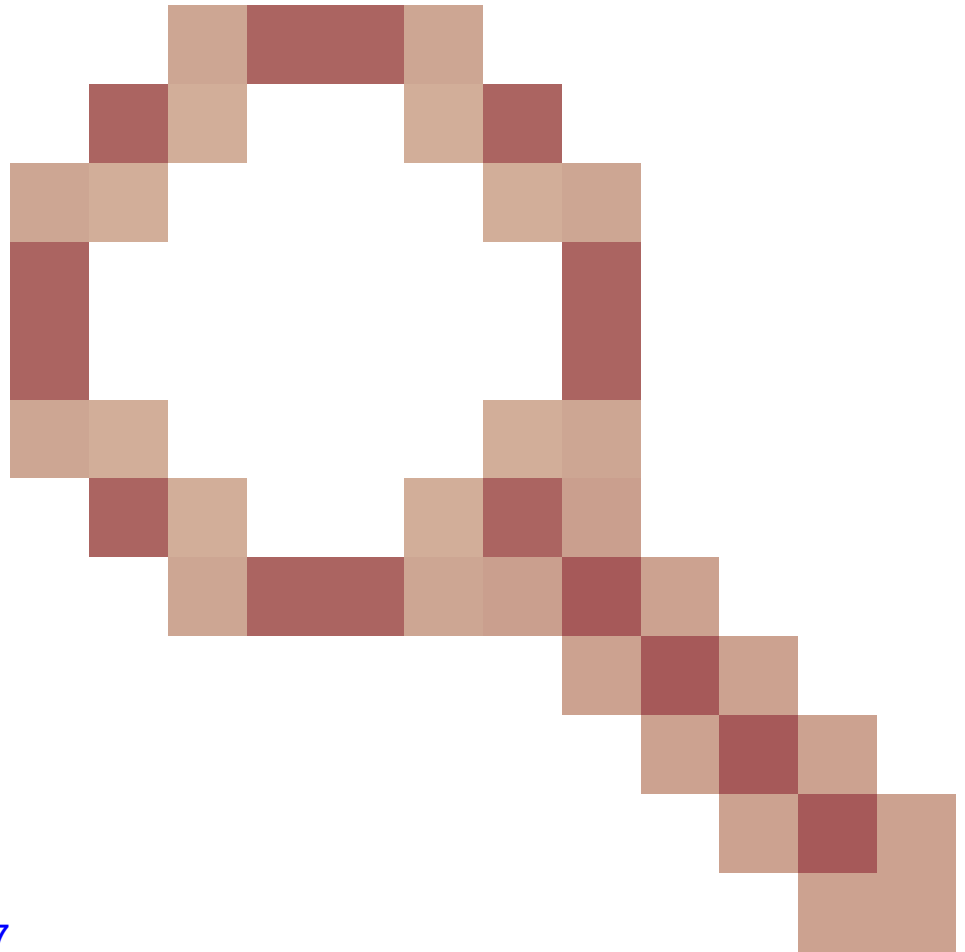
```
[01/01/1970 00:00:05.0600] ubi0エラー : ubi_eba_init : 十分な物理eraseblocksがありません ( 0、1が必要 )
```

```
[*01/01/1970 00:00:06.4720] マウントの失敗
```

場合によっては、APの交換が必要になることがあります。

シスコでは、この問題に対処するために2つのバグ修正を実装しています。

バグ修正

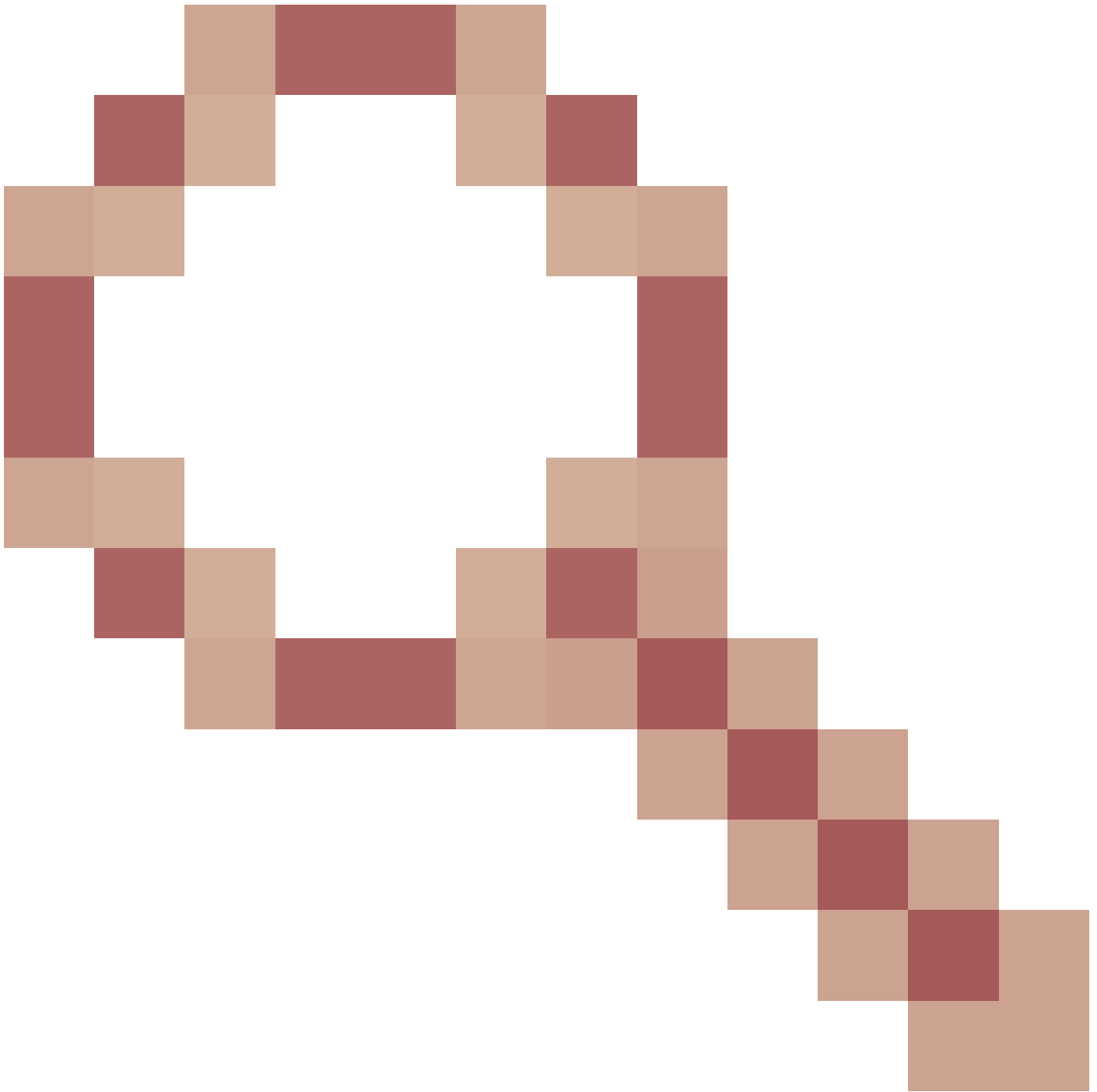


[Cisco Bug ID CSCwf50177](#)

C9105AXW : 多数の不正ブロック

このバグ修正により、フラッシュブロックに不正なマークが付けられるのを防ぎます。ただし、すでに過剰な数の不良ブロックがあるAPは修復されません。

[Cisco Bug ID CSCwf68131](#)



C9105AXW不良ブロックの監視と修復

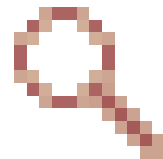
このバグフィックスは、過剰な不良ブロックのあるAPを修復します。 ブート時(u-boot)に、APの不良ブロックテーブルがしきい値のエントリ数 (デフォルトは40、u-boot変数 SCRUB_LIMITで制御) を超えると、APのブート前に不良ブロックテーブルは空になります。

該当するユニット

この問題に該当するのはC9105AXW APだけで、他のAPモデルはこの問題に該当しません。C9105AXWユニットにあるかどうかを確認するには、[BST](#)でCisco Bug ID CSCwf50177を開き、「Check Bug Applicability」をクリックして、APのシリアル番号を入力します。

修正済みソフトウェア

C9105AXWが影響を受けている場合は、Cisco Bug ID CSCwf50177とCisco Bug ID



[CSCwf68131](#)の両方の修正を含むソフトウェアにアップグレードする必要があります。
2023年9月5日現在、修正は次のリリースで利用可能です。

AireOS

- 8.10.190.0 (CCO上)
 - 8.10.185.7および8.10.189.111は、このフラッシュの問題に対する修正を含む特別リリースです。これらのリリースを使用しているお客様は、都合のよいときに8.10.190.0にアップグレードする必要があります

Cisco IOS® XE

- 17.3.7 APSP5以降 (TACサービスリクエストをオープン)
- 17.3.8 (CCO上)
- 17.6.5 APSP5以降 (CCO上)
- 17.6.6 (CCO上)
- 17.9.3 APSP5以降 (CCO上)
- 17.9.4 APSP1以上 (CCO上)
- 17.9.5(CCO 2024)
- 17.12.2 (CCO、2023年11月)
- 17.13.1 (CCO、2023年12月)

影響を受けやすいAPの過剰な不良ブロックのチェック

まず、影響を受けるC9105AXWをすべてチェックし、不良ブロックがいくつあるかを確認します。不正ブロックが60個を超えるブロックがない場合は、直接アップグレードできます。

不正ブロックのチェック – 17.6以降

影響を受ける各C9105AXWで(「[CSCwf50177](#)の「Check Bug Applicability」で確認できます)、`show flash statistics`の出力を収集します。「count of bad physical eraseblocks」を探します。多数のAPのチェックを自動化するには、[WLAN Poller](#)を使用します。



不正ブロックのチェック：8.10および17.3

TAC (またはSWIMSにアクセス可能な他のシスコ従業員) は、影響を受けやすい各C9105AXWにdevshell接続し、次のコマンドを発行する必要があります。

```
ubinfo -a
```

「count of bad physical eraseblocks」を探します。多数のAPのチェックを自動化するには、RADKitを使用します。

アップグレード手順

C9105AXWユニットで過剰な不良ブロックが発生している場合は、修正済みソフトウェアにアップグレードする際に次の手順に従ってください。

シングルコントローラ導入でのアップグレード – 新しいコントローライメージの完了

1. (オプション) 新しいコントローライメージをインストールできますが、アクティブ化はしないでください。また、新しいAPソフトウェアを該当するC9105AXWにプレダウンロードしないでください。
2. 古いコントローライメージがまだ稼働している状態で、該当するC9105AXWをリブートします。これにより、ほとんどの場合、影響を受けるAPのアップグレードが許可されます。(場合によっては、いくつかのAPを交換する必要があります)
3. 必要に応じて、新しいAPイメージを事前にダウンロードできます。
4. コントローラをリロードし、新しいソフトウェアを実行します。

シングルコントローラ導入でのアップグレード – APSP

1. (オプション) 新しいAPSPをインストールすることはできますが、アクティブ化はしないでください。また、新しいAPソフトウェアを該当するC9105AXWにプレダウンロードしないでください。
2. 該当するC9105AXWをリブートします。これにより、ほとんどの場合、影響を受けるAPのアップグレードが許可されます。(場合によっては、いくつかのAPを交換する必要があります)
3. APSPのプレダウンロード、アクティブ化、およびコミットが可能になりました。

N+1導入でのアップグレード

このシナリオでは、該当するC9105AXWのアップグレードにバックアップコントローラが使用されています。

1. 影響を受けるAPが古いコントローラに加入したままの状態、バックアップコントローラを修正済みソフトウェア(フルコントローラバージョン、つまりAPSP)にアップグレードします
2. 影響を受けるAPをリロードします。古いコントローラに再度加入させます。(場合によっては、いくつかのAPを交換する必要があります)
3. ここで、影響を受けるAPを再設定し、プライマリコントローラをアップグレードされたコントローラに設定して、バックアップコントローラに加入させます。

4. プライマリコントローラを修正済みソフトウェアにアップグレードした後、C9105AXWを元のコントローラに戻すことができます。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。